

第6回講義・動産譲渡担保 項目レジュメ

- (1) 各自が準備。当日配付資料と対照すること。
- (2) (a) 請求の趣旨
 - 給付訴訟の場合
 - 確認訴訟の許否
 - 請求原因
 - 給付訴訟の場合
 - 確認訴訟の場合
- (2) (b) 譲渡担保契約の有効性
 - 集合物の特定性
 - 公序良俗違反の有無
 - 権限内の有効・適法な譲渡⇒所有権喪失
 - 即時取得による所有権喪失
 - 集合物からの離脱による所有権喪失
 - 譲渡担保の法的構成と多重設定の可否
- (3) (a) 請求の趣旨と根拠条文
 - 譲渡担保の法的構成と第三者異議の可否
 - 請求原因
 - 対抗要件具備の主張・立証責任
- (3) (b) Xの権利の固定化する時期
 - 固定化とは
 - 期限の利益喪失特約との関係
 - 準消費貸借と先取特権の存続の可否
 - 目的物の加工と先取特権の存続の可否
 - 先取特権と集合流動動産譲渡担保の優劣
 - 333条説 vs. 334条説
- (4) 譲渡担保の法的構成と設定者倒産時の処理
 - 取戻権説 vs. 別除権説
- (5) 動産譲渡登記の効力